

II 暮らしの向上

5 学びの支援

主担当部局長名
地域振興部長 村田 崇

目指す姿

子どもの人間力を育て、社会人として親としての学びを支援し、地域の教育力の充実を図ります。また、すべての県民がいきいきと暮らすため、学び続け支えあえる地域社会を目指します。

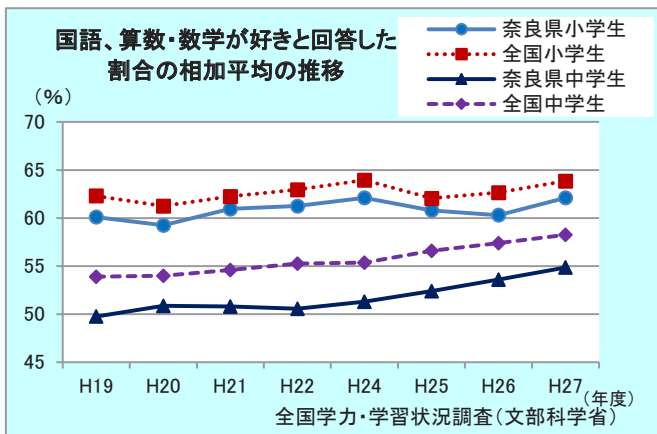


若手教員による授業づくり

これまでの成果

- ・新しい教育委員会制度のもと、奈良県総合教育会議を4回、奈良県教育サミットを3回開催し、知事部局と教育委員会が市町村と連携しながら、平成28年3月に奈良県教育振興大綱を策定しました。
- ・教職員の資質向上に向けた取組として、教職大学院への派遣制度の改変や、若手教員育成のための研修システムの研究・開発等を進めました。
- ・平成27年度に、奈良県立大学が地域貢献として、公開講座を2回(115人参加)開催しました。また、シニアアカデミーを奈良県立大学に加えて中南和地域においても開講し、広く県民に学習の機会を提供(647人受講)しました。

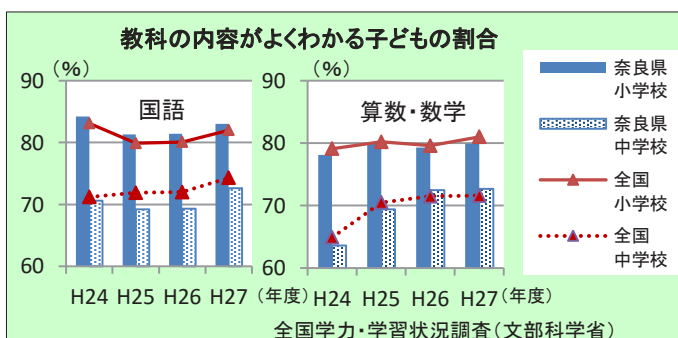
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成28年度までに「教科が好きだ」と答える子どもの割合を全国平均以上にします。
取組	奈良県学力・学習状況調査の結果等から成果と課題を検証し、各学校において、児童生徒への指導の充実や学習状況の改善等に取り組みました。
成果	調査結果を検証し、学力向上のための取組に活かした結果、中学生では国語、数学が好きと回答した割合が順調に増加しています。小学生も、前年度の落ち込みから回復傾向にあります。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<p>①平成28年度までに、教科の内容がよくわかる子どもの割合を全国平均以上にします。(H26年度:小学校国語81.4%〈80.1%〉、算数79.3%〈79.6%〉、中学校国語69.3%〈72.0%〉、数学72.5%〈71.5%〉) ※〈 〉内は全国平均</p> <p>②平成28年度まで、学校の教育相談体制の充実を図り、児童生徒1,000人当たりの暴力行為発生件数を全国平均以下に維持します。(H25年度:4.2件〈全国平均4.3件〉)</p> <p>③平成28年度までに、子どもの1週間の運動時間を全国10位以内にします。(H26年度:小学生男子644分〈644分〉、女子328分〈378分〉、中学校男子992分〈984分〉、女子660分〈690分〉) ※〈 〉内は全国10位</p>
------	--



取組	若手教員の研修システムの構築や、中学校区内の小・中学校合同の授業研究の推進等、学び続ける教職員を育成するために、教職員研修の充実に取り組みました。(①,②,③)
成果	子どもたちの学習意欲を高めるための教育内容の充実、指導方法の改善に取り組んだ結果、教科の内容がよくわかると回答した子どもの割合は増加しました。